

とうにうん

第27号 09年12月15日
J R 東海 労 東 二 運 分 会
責 任 者 庭 山 義 輝
編 集 教 宣 部

年休は絶対に流さない 残りは わずか3ヶ月半 東海労は改善の取り組みをしています

**ユニオン・国労組合員のみなさん！
そして 東海労組合員のみなさん！**

早くも08年度は2/3を過ぎ、3月の年度末まで残り3ヶ月半です。私たち東海労は今、年休を絶対に流さない取り組みをしています。東海労は、年休が入らない最大の理由は要員不足だと考えています。職種別年休順位をパソコンで抽選しても、その順位は必ず年休が入るということの証明ではなく、あきらめろ、ということでは決まないと考えています。

ところで皆さんは、年休を取れていますか？ 誰に聞いても「取れない・入らない」「1番なのに…」「あきらめてます…」という声ばかりです。しかしあきらめてはダメです。

年休は絶対に流さないという強い気持ちを持たなければ、会社の思うつぼです。特にユニオン組合員の皆さんは、先月の「総対話集会」で当然、ボーナスや要員や年休や還流などについて質問し、ユニオン本部の考えを聞いたはずですよ。

これは想像ですが、世界的な経済状況や高速道路無料化、JR東海会社の現状や他会社の状況が話され、それでもJR東海は良い方だ。東海ユニオンは頑張っている、海労の言うことを信じるな、等々と言われたのではないのでしょうか。

順番が悪い 要員が… 聞きに来ないで

今、東海労組合員は、年休が入らない理由を運転科に聞きに行っています。「なぜ年休が入らないのか」と聞くと「順

番が悪い、要員が…」と言われていました。

また「12ヶ月とも、順番が悪ければ全く入らないのか？」と聞くと「そういうこともある」と驚きの答えが返ってきます。「順番」が年休が入らない理由になっているのです。おまけに、なんで聞きに来るの？ 聞きに来ないで、とまで言われています。聞きに来られては困る理由がここにあります、要員不足が明らかになります。だから私たちは、順番はごまかしとあきらめの目安でしかないと言わざるを得ないのです。

さらにこんなことも言われています。「良い方法があったら教えて」「抽選の立会人なんだから順番が悪くても文句言えないな」と。良い方法は一つだけ。要員を増やす、です。

私たちの 時季指定に対して 時季変更無視

皆さんは、書き方が面倒なあの「年次有給休暇申込簿」の記入欄に「時季指定日」が有るのを知っていると思います。

おかしいと思いませんか？ 東海労組合員が「3月末までに使わないと流れそうな年休が〇〇日あるが大丈夫か」と聞いたところ「時季変更のことか。変更時季を指定したいけど、その月の申込の人が入らなくなる」等と説明がされました。

形式上「申込簿」では法にそったように装って「時季指定日」と表現しています。しかし実際は、私たちに保証されている年休を取る権利・「時季指定権」を全く無視しているのです。ただの一度も「指定日は〇〇の事情があって無理だから××日でどうだろうか？」と言われたことはありません。

しかし耳を疑うような朗報もあります。時季変更について7日の交渉で幹鉄事は「現行どおり社員があらためて他の日に年休の時季指定を行うこととする」と回答しました。これは年休が入らない時はあらためて時季指定すれば年休が入るという意味であり、絶対に年休が取れるということです。それで良いですね、と運転科に確かめて時季指定しましょう。

会社は わたしたちの権利を 認めているか？

耳を疑うような朗報は別として、東海労が年休が入らない理由を、「要員不足」と言う会社は「最大の乗務員養成をし、かつ在来線からの転換も積極的に行い、専任社員としての継続雇用やOB雇用をし、さらに効率化も進めている」とくり返しています。

確かに、会社の言っていることは施策として進められているのでしょう。しかし、一向にその成果が私たちの仕事や年休に反映されず、逆に仕事はきつくなる一方です。年休も入らないどころか年度末・3月末にはこれまでと同じく、流れそうなのです。この否定的な現実には絶対に認められません。

会社は公平を装い、努力はしている、だから年休が入らないのはやむを得ないと開き直っているとしか言いようがありません。この、厳しい職場の現状は私たちの権利・年休を完全に取る権利を認めていないことの現れなのです。

ユニオン・国労組合員のみなさん！
運転科と組合役員に みんなで聞きに行きましょう
なぜ年休が入らないのですか？ いつ入るのですか？ と
幹鉄事は「あらためて時季指定を」と言っています
年休を流さないため 共に声を出し 行動しましょう